

第3日曜日は 家庭防災の日



災害に備え 日頃から家族で 話し合みましょう!

4月 新入学・就職の季節です。新しい通学路や通勤路をご家族で、歩いてみて危険な所がないか確認してみましょう。



5月 いざという時のために、家族で集合場所や連絡方法を決めましょう。



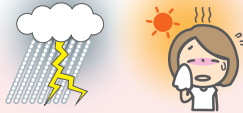
6月 いよいよ本格的な雨の季節です。ゲリラ豪雨や台風に加え、備蓄品の消費期限等の確認をしましょう。



7月 夏休みなどを利用して、家族で地域の災害について調べてみましょう。



8月 真夏は大気が不安定となりやすく、豪雨や落雷の危険もあります。外出の際は事前に天気予報を確認し、熱中症や水の事故にも気をつけましょう。



9月 台風シーズンです。台風の予想進路が発表されたら、無理な外出は控え、早めの行動に心がけましょう。



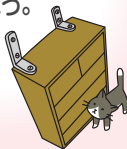
10月 身近な地域の防災訓練に参加して、地域住民と共助について話し合みましょう。



11月 いざという時に役立つ、応急手当の知識と技術を身につけておきましょう。



12月 大掃除の季節です。家具などの固定をして部屋の出入口や通路に危険なものを置かないように整理整頓しましょう。



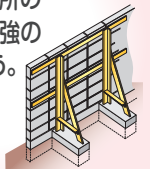
1月 空気が乾燥する季節です。火の不始末や地震等による火災に備えて、消火器や消火用バケツなどの用具の点検をし、火の元には十分気をつけましょう。



2月 災害に備え、家庭で準備をしましょう。大災害の場合は、7日分程度の飲料水や食料品が必要となります。災害対策チェックリストで確認してみましょう。



3月 地震の被害を最小限にするために、住宅やその周辺の危険な箇所の耐震診断や耐震補強の対策をとりましょう。



洪水

洪水時避難の情報

- 市災害対策本部
- テレビ・ラジオによる放送
- 広報車等による周知
- 電話による自主防災会等への伝達
- 個別巡回による伝達
- ほっとメール
- ホームページ
- 市民のみなさま

※市災害対策本部が状況を総合的に判断して発表します。

- 避難指示** ●必ず避難所に、避難しましょう。
- 避難勧告** ●お年寄りや隣近所に声をかけ、お互いに助け合って、指定された避難所に避難しましょう。
- 避難準備** ●いつでも避難できるように準備をしましょう。
- 気象情報に注意しましょう。
- お年寄りや子供などは、早めに避難を開始しましょう。

地震

室内でグラツときたら!!

- 自分の身を守る
- 出火防止
- 脱出口の確保



まずは落ち着いて身の安全確保を第一。
ガスの元栓を閉め、コンセントを抜く。火が出たら落ち着いて初期消火。
ドア・窓を開けて脱出口を確保。避難にエレベーターは絶対ダメ!階段を使って避難。

避難時の心得

- 正確な情報収集と自主的避難** 最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意。危機を感じたら早めに自主避難。
- 非常持出品の事前準備** 避難するときの荷物は必要最小限とし事前に準備。
- 避難する前** 避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難所の確認を。親戚や知人などに避難する旨の連絡。
- 動きやすい格好、2人以上で避難** 避難するときは、動きやすい格好で、2人以上でそろって避難。

明日は我が身!!

外出中にグラツときたら!!

- 電車やバスの中** 手すりなどにしっかりとつかまる。揺れが収まったら、乗務員の指示に従って避難。
- お店の中** 買い物かごやカバンなどを頭を保護し、商品棚から離れる。揺れが収まったら、係員の指示に従って避難。
- 商店街・ビル街** 落下物からカバンなどで頭を守り、空き地や公園に避難。自販機・ブロック塀などのそばには近づかない。
- 運転中** 徐々にスピードを緩め道路の左側に止め、エンジンを切る。ラジオで情報を集める。

- 高い道路を選び避難** 避難はできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は溝や水路に十分注意。
- お年寄りなどの避難に協力** お年寄りや子供、病気の人は、早い避難が必要。近所のお年寄りなどの避難に協力。
- 車での避難は避ける** 車での避難は絶対ダメ! 特別な場合を除き、徒歩で避難。
- 万が一、逃げ遅れたとき** 万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に避難。

家族で対策について考えましょう!
日頃から備えが大切です。

避難のイメージ



助け合って避難場所へ お年寄りや子供などへも心配り